

日本の  
ひなた  
宮崎県

# 宮崎県の主要指標

## 目次

### 【主要指標の動き】

1	景気動向指数（D I）	1
2	鉱工業指数（季節調整値）	2
3	農業（と畜頭数・羽数及び枝肉生産量）	2
4	通関実績	3
5	百貨店・スーパー商品販売額	4
6	乗用車新車登録台数・届出台数	4
7	宮崎空港乗降客数	5
8	消費者物価指数	5
9	有効求人倍率	6
10	消費者物価指数（季節調整値）	6
11	新設住宅着工戸数	7
12	公共工事請負状況	7
13	企業動向アンケート調査	8
14	企業倒産状況	8
15	人口	9

### 【参考】

・	「月例経済報告」抜粋（全国）	10
・	「宮崎県金融経済概況」抜粋	11
・	「宮崎県内経済情勢報告」抜粋	12
・	参考指標一覧	13

令和6年4月

宮崎県総合政策部統計調査課



「みやざき統計BOX」も  
役に立つよ！

みやざき統計BOX

検索



※「宮崎県の主要指標」は令和6年4月26日までに得られた数値により作成しています。  
（「主要指標の動き」に用いている指標については、指標毎に調査・集計時点（月）が異なりますので、比較・利用する際にはご注意ください。）

詳細は以下のページ（統計全般）に掲載しています。

<https://www.pref.miyazaki.lg.jp/kense/toke/index.html>

また、「みやざき統計BOX」でも閲覧することができます。

<https://stat.pref.miyazaki.lg.jp/>

## [主要指標の動き]

### 【概況】



県内経済は、一部に弱めの動きがみられるものの、全体としては緩やかに回復しつつあります。

※矢印は、前月または前年同月と比較してどのように変化したかを表しています。

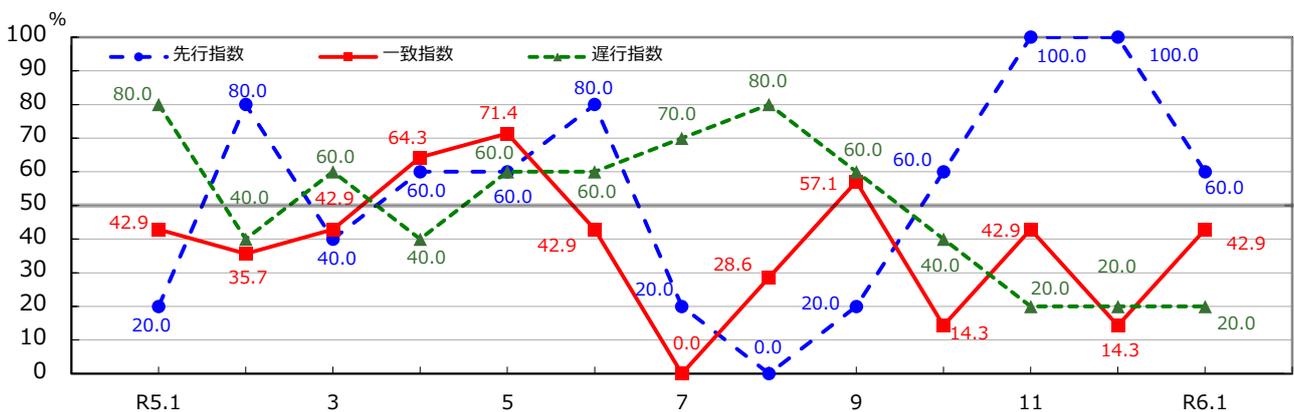
1. 生産・貿易	鉱工業生産指数は、5か月ぶりに前月を上回りました。
2. 消費	消費は、百貨店・スーパー販売額、空港乗降客数ともにやや増加しました。乗用車新車登録・届出台数は、一部自動車メーカーの出荷停止により前年同月を下回りましたが、改善の動きがみられました。
3. 雇用・労働	雇用は、有効求人数がやや減少しましたが、有効求人倍率は、高い水準を保ちました。賃金は、名目、実質ともに前年同期を上回りました。
4. 投資	住宅投資は減少し、公共投資は増加しました。
5. 企業景況	令和6年1～3月期の全般的業況DIIは前期比20ポイント悪化しました。
6. 人口	令和6年4月1日現在の本県の推計人口は1,034,230人で、前月より3,125人減少しました。世帯数は前月より350世帯減少し、472,635世帯でした。

### 【景気動向指数(DI)】

#### ●全国・九州各県(1月)

	本県	全国	福岡	佐賀	長崎	熊本	大分	鹿児島
先行指数	60.0	50.0	42.9	31.3	-	-	66.7	60.0
一致指数	42.9	11.1	50.0	0.0	-	-	40.0	56.3
遅行指数	20.0	37.5	71.4	50.0	-	-	33.3	40.0

※長崎県は令和2年2月分から指数の算出を廃止、熊本県は令和6年1月分から算出を休止している。



令和6年1月の本県の景気動向指数は、先行指数60.0、一致指数42.9、遅行指数20.0でした。

※景気動向指数：景気に敏感な経済指標を用いて、景気が上向きか下向きかを総合的に示す指数

(1-1表 資料：県統計調査課)

# 1. 生産・貿易



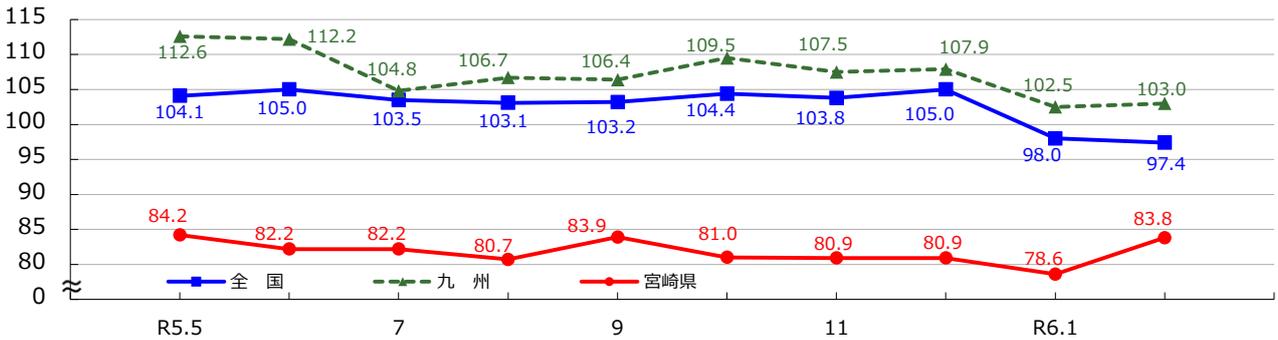
鉱工業生産指数は、5か月ぶりに前月を上回りました。

## 1-1 【鉱工業生産指数（季節調整済指数）】

### ●全国・九州各県（1月）

	本県	全国	福岡	佐賀	長崎	熊本	大分	鹿児島
生産	78.6	98.0	96.5	90.5	130.8	117.7	104.3	95.5

※佐賀、鹿児島、本県は[平成27年(2015年)=100]、福岡、長崎、熊本、大分は[令和2年(2020年)=100]



令和6年2月の本県の生産指数は83.8で、前月を6.6%上回りました。

全国生産指数は97.4で、前月を0.6%下回りました。

九州生産指数は103.0で、前月を0.5%上回りました。

※本県は速報値[平成27年(2015年)=100]、九州は速報値[令和2年(2020年)=100]、全国は確報値[令和2年(2020年)=100]

(4-3表 資料：県統計調査課)

## 1-2 【牛・豚のと畜頭数、枝肉生産量及びブロイラーひな餌付羽数】

単位：頭数（ブロイラーは羽数）



令和6年2月の本県のブロイラーひな餌付羽数は12,302羽で、前年同月を8.6%上回りました。

豚、牛のと畜頭数はそれぞれ83,421頭と4,078頭でした。豚が前年同月を1.8%上回り、

牛は3.8%下回りました。枝肉生産量は豚が6,724tで、牛が1,950tでした。豚が前年同月を3.4%上回り、

牛は前年同月を6.5%下回りました。

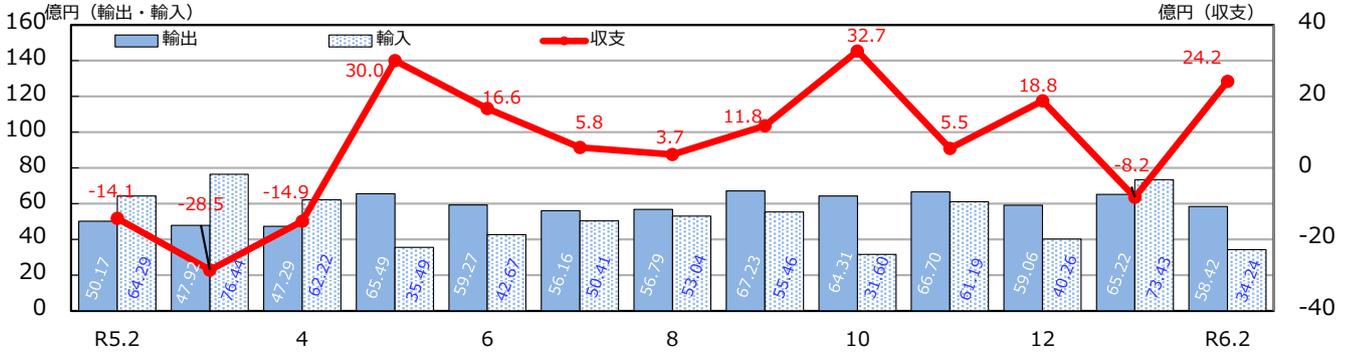
(3-2表 資料：農林水産省（般）日本種鶏孵卵協会)

1-3 【通関実績】

●全国・九州各県（2月）

（単位：億円）

	本 県	全 国	福 岡	佐 賀	長 崎	熊 本	大 分	鹿 児 島
輸出(A)	58.42	96,433.50	619.67	10.78	15.82	34.64	832.05	45.30
輸入(B)	34.24	95,744.62	3,169.40	74.86	355.71	173.00	1,588.01	1,615.81
収 支 (A)-(B)	24.2	688.9	▲ 2,549.7	▲ 64.1	▲ 339.9	▲ 138.4	▲ 756.0	▲ 1,570.5



令和6年2月の宮崎県内（細島港、油津港、宮崎空港）における輸出額は58億42百万円でした。

また、輸入額は34億24百万円でした。

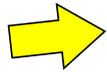
これにより、輸出額から輸入額を差し引いた収支は、24億18百万円のプラス（黒字）でした。

輸入額は前月から10.4%減少し、輸出額は53.4%減少しました。

減少した主な品目では、輸入は歴青炭（石炭）、ヘキサメチレンジアミン（合成繊維等の原料）などが減少しました。輸出ではポリアミド（電子・電気機器等に使用）、紙類が減少しました。

（9-1表 資料：財務省）

## 2. 消費



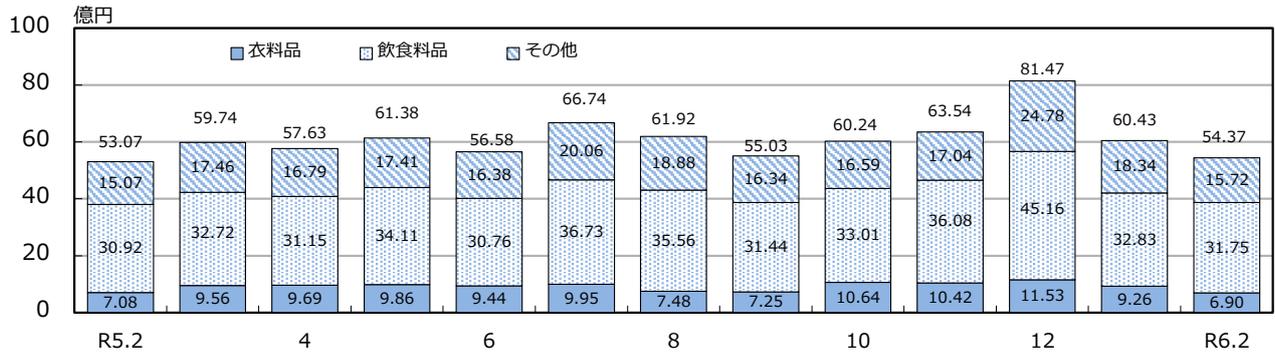
消費は、百貨店・スーパー販売額、空港乗降客数ともにやや増加しました。乗用車新車登録・届出台数は、一部自動車メーカーの出荷停止により前年同月を下回りましたが、改善の動きがみられました。

### 2-1 【百貨店・スーパー商品別販売額】

●全国・九州各県（2月）

（単位：億円）

	本 県	全 国	福 岡	佐 賀	長 崎	熊 本	大 分	鹿 児 島
販売額計	54.36	17,020.98	577.29	49.10	78.08	133.15	89.80	158.06



令和6年2月の県内百貨店及びスーパー（計35店舗）の販売額は54億36百万円で、前年同月を2.4%上回りました。  
商品別では、衣料品が2.5%減少し、飲食料品が2.7%、その他が4.3%、それぞれ増加しました。  
※各月における商品別販売額の合計と総販売額は、端数処理の関係で一致しないことがあります。

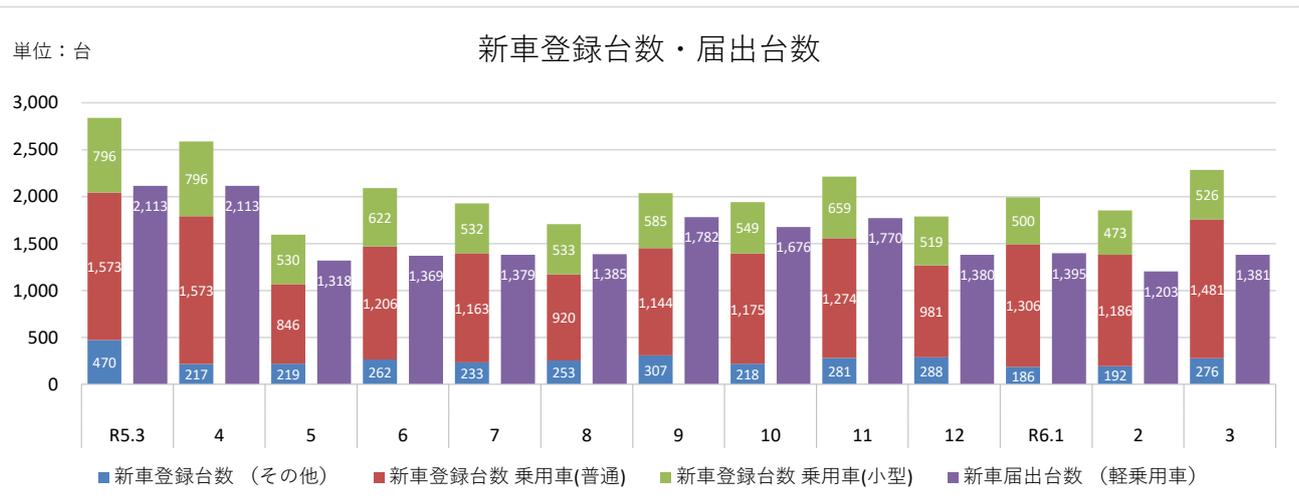
（9-2表 資料：経済産業省）

### 2-2 【新車登録・届出台数】

●全国・九州各県（3月）

（単位：台）

	本 県	全 国	福 岡	佐 賀	長 崎	熊 本	大 分	鹿 児 島
新車登録台数	2,283	305,541	13,131	1,852	2,411	3,823	2,663	3,379

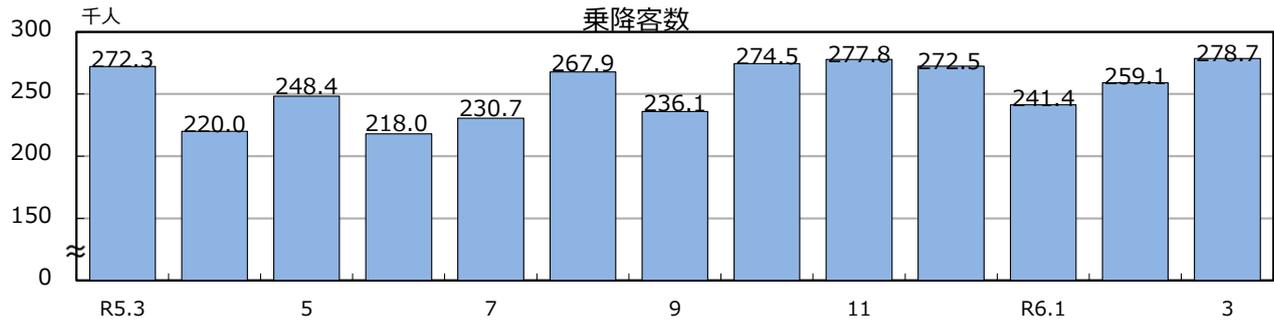


※新車登録台数（その他）：普通貨物、小型貨物、バス、特種車、特殊車

令和6年3月の本県の新車登録台数は2,283台で、前年同月を19.6%下回りました。  
普通乗用車の新車登録台数は1,481台で、前年同月を5.8%下回りました。小型乗用車の新車登録台数は526台で、前年同月を33.9%下回りました。

（7-2表 資料提供：日本自動車販売協会連合会 宮崎県支部）

### 2-3 【宮崎空港乗降客数】



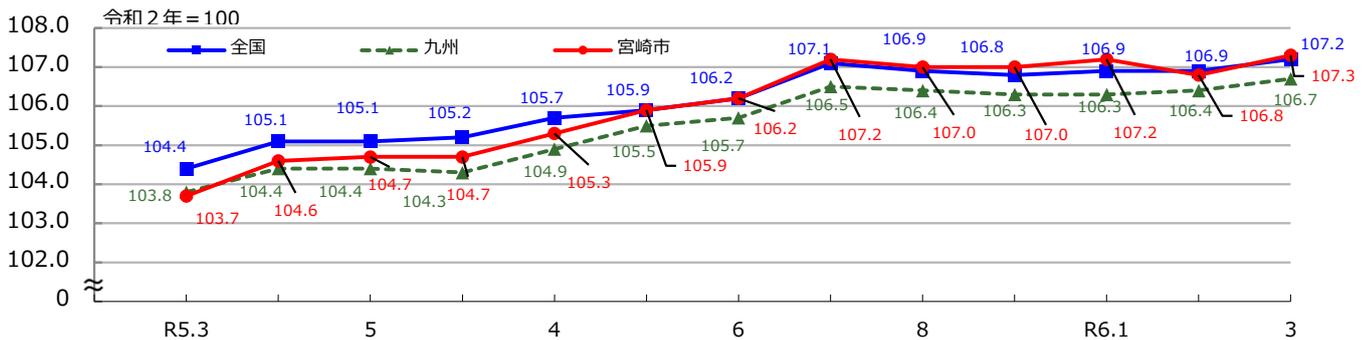
令和6年3月の宮崎空港の乗降客数は278,691人で、前年同月を2.4%上回りました。  
国内線は、東京便（羽田＋成田）が0.7%、大阪便（伊丹＋関西）が-5.2%、福岡便が2.0%、名古屋便が35.5%、沖縄便が5.4%と、多くの路線で増加しました。国際線は、ソウル便で4,690人の乗降客がありました。

(7-3表 資料提供：宮崎交通(株)、県総合交通課)

### 2-4 【消費者物価指数】

●全国・九州各県（3月）※各県は、県庁所在市

	本県	全国	福岡	佐賀	長崎	熊本	大分	鹿児島
総合	107.3	107.2	107.0	106.9	107.3	106.6	105.4	105.4



令和6年3月の宮崎市の消費者物価指数（令和2年＝100）は総合指数で107.3となり、前年同月を3.5%上回りました。  
食料、住居等の10大費目別では全ての費目で上昇しました。

(10-3表 資料：総務省)

### 3. 雇用・労働

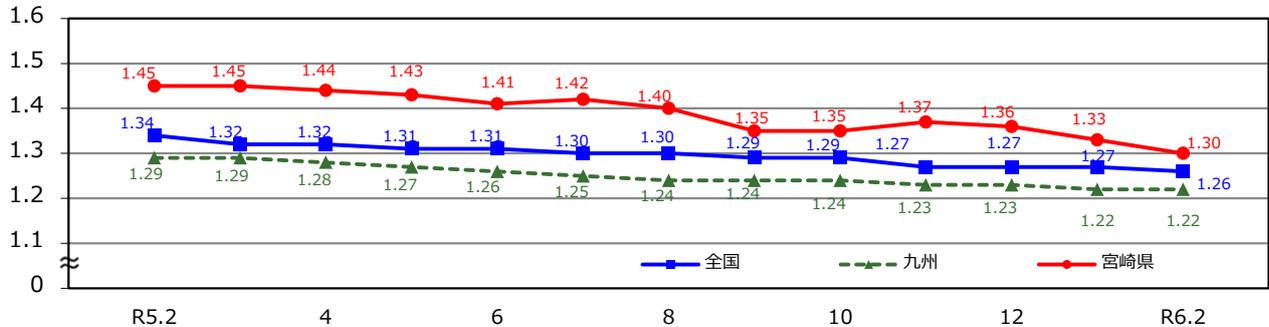


雇用は、有効求人数がやや減少しましたが、有効有人倍率は、高い水準を保ちました。  
賃金は、名目、実質ともに前年同期を上回りました。

#### 3-1 【有効求人倍率】

##### ●全国・九州各県（2月）

有効求人倍率 (季節調整値)	本 県	全 国	福 岡	佐 賀	長 崎	熊 本	大 分	鹿 児 島
	1.30	1.26	1.21	1.30	1.20	1.24	1.40	1.21



令和6年2月の本県の有効求人倍率(季節調整値)は1.30倍で、前月比0.03ポイント低下し、前年同月比0.15ポイント低下しました。

(11-1表 資料：宮崎労働局職業安定部)

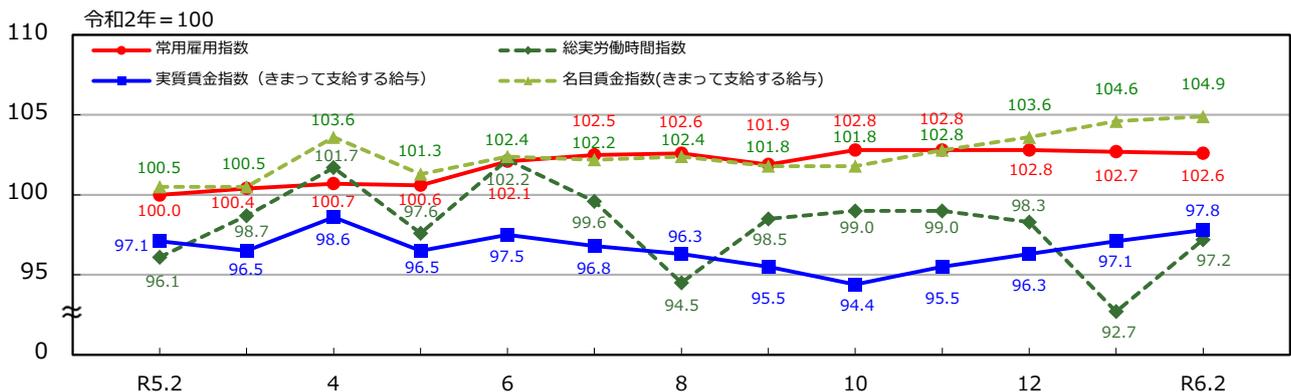
#### 3-2 【労働関係指数（事業所規模5人以上）】

##### ●全国・九州各県（2月）

(単位：円、時間)

	本 県	全 国	福 岡	佐 賀	長 崎	熊 本	大 分	鹿 児 島
常用雇用指数	102.6	103.1	109.4	104.1	99.2	104.3	99.4	105.5
きまって支給する給与額	229,429	276,230	275,944	238,616	230,464	241,247	246,063	238,467
現金給与総額	237,891	281,087	280,062	239,994	231,757	243,569	248,163	241,166
総実労働時間	97.2	99.6	137.7	141.4	137.6	138.8	135.2	139.1

※常用雇用指数は原数値  
※福岡県のみ規模30人以上



令和6年2月の本県の常用雇用指数(令和2年=100)は102.6で、前年同月を2.6%上回りました。

総実労働時間指数は97.2で、前年同月を1.1%上回りました。

また、名目賃金指数(きまって支給する給与)は104.9で、前年同月を4.4%上回りました。

実質賃金指数(同)は97.8で、前年同月を0.7%上回りました。

(11-2表 資料：県統計調査課)

## 4. 投資



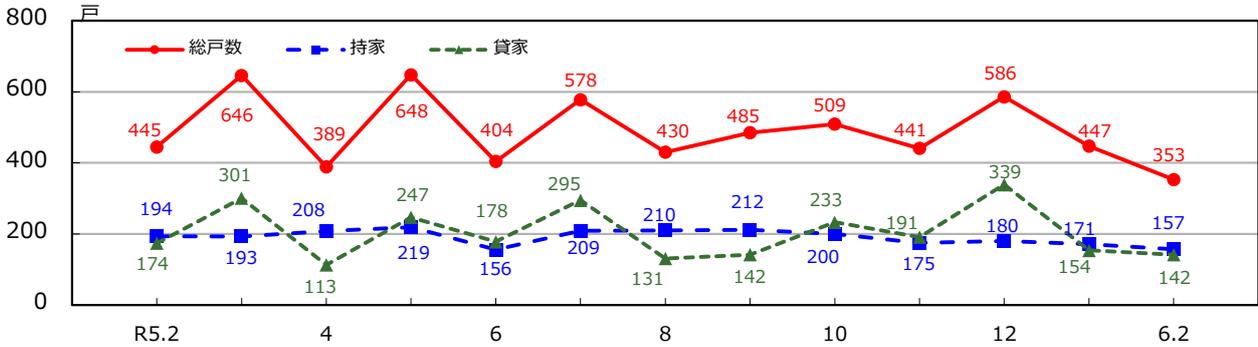
住宅投資は減少し、公共投資は増加しました。

### 4-1 【新設住宅着工戸数】

●全国・九州各県（2月）

（単位：戸）

新設住宅 着工総戸数	本県	全国	福岡	佐賀	長崎	熊本	大分	鹿児島
	353	59,162	2,623	444	457	1,292	544	883



令和6年2月の県内の新設住宅着工総戸数は353戸で、前年同月から20.7%減少しました。総戸数は、前年同月比2か月連続で減少しました。

利用関係別では、持家が157戸で前年同月から19.1%減少、貸家が142戸で同18.4%減少しました。

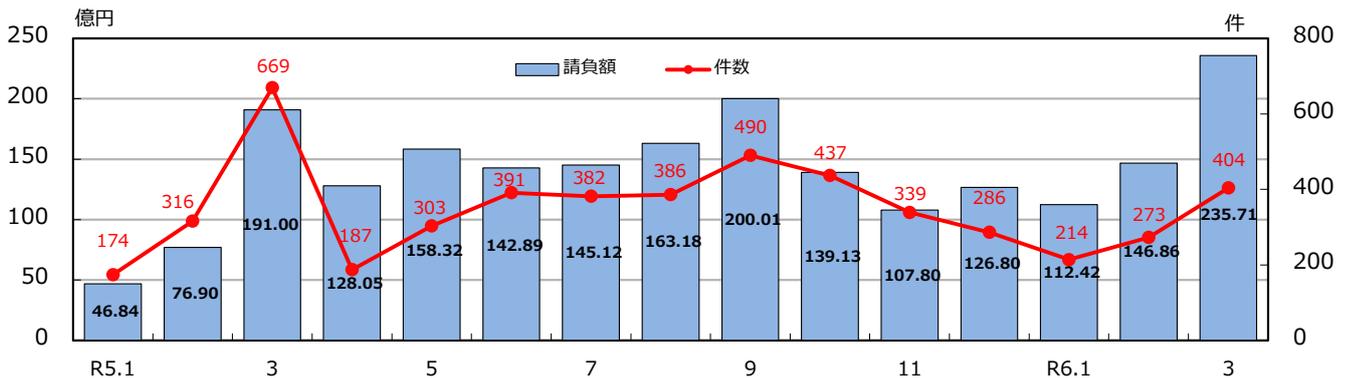
（5-1表 資料：国土交通省）

### 4-2 【公共工事請負状況】

●全国・九州各県（3月）

（単位：億円、件）

	本県	全国	福岡	佐賀	長崎	熊本	大分	鹿児島
総件数	404	16,231	864	187	310	520	378	642
請負額計	235.71	16,242.52	446.96	108.30	314.53	390.61	286.33	1,743.70



前払保証からみた令和6年3月の県内の公共工事請負状況は、件数404件、請負金額235億71百万円で件数は前年同月から39.6%減少し、請負金額は前年同月から23.4%増加しました。発注者別の件数は国26件、県249件、市町村125件、請負金額は国62億7百万円、県144億44百万円、市町村26億円でした。

（5-2表 資料提供：西日本建設業保証(株)宮崎支店）

## 5. 企業景況



令和6年1～3月期の全般的業況DIは前期比20ポイント悪化しました。

### 5-1 【令和6年1～3月期企業動向アンケート調査】

・業況判断DI

(単位：%、ポイント)

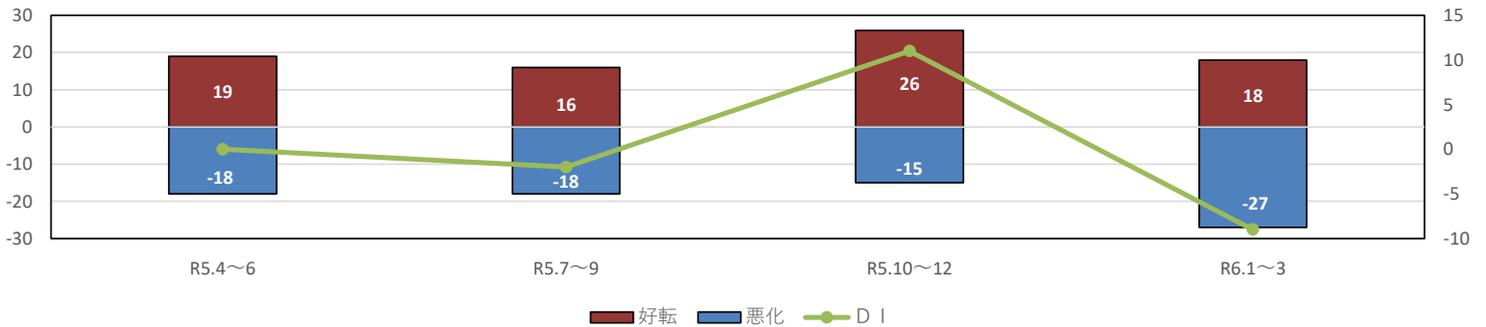
業種	R6年1～3月期		
	好転 (A)	悪化 (B)	DI (A)-(B)
全体	18	27	▲9
製造業	22	38	▲16
建設業	9	13	▲4
卸小売業	18	31	▲13
サービス業	23	18	5

・来期見通し

(単位：%、ポイント)

業種	R6年4～6月期		
	好転 (A)	悪化 (B)	DI (A)-(B)
全体	17	23	▲6
製造業	20	30	▲10
建設業	20	20	0
卸小売業	12	19	▲7
サービス業	16	20	▲5

業況判断DI



令和6年1～3月期の本県の企業動向アンケート結果は、「好転」18%、「悪化」27%で、「好転」から「悪化」を差し引いた全般的業況DIは-9ポイントとなり、前期比20ポイント悪化しました。

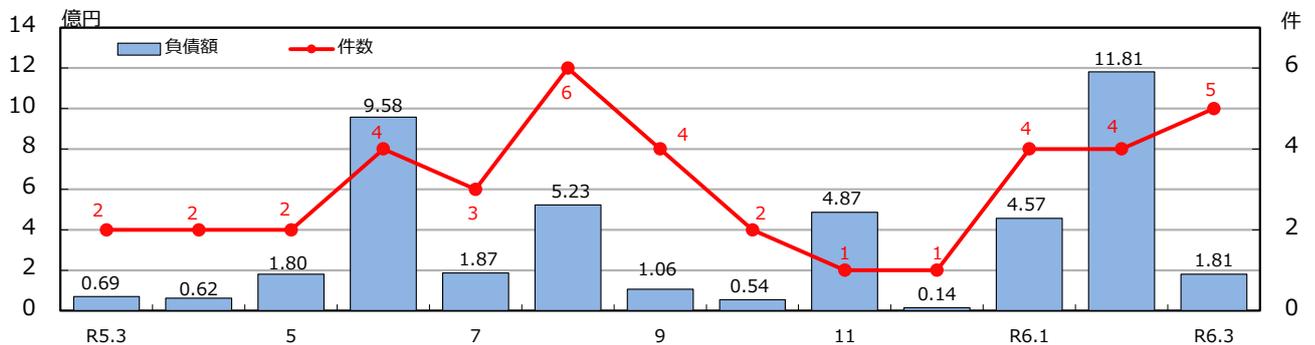
(資料：一般財団法人 みやぎん経済研究所)

### 5-2 【企業倒産状況】

●全国・九州各県(3月)

(単位：件、億円)

	本県	全国	福岡	佐賀	長崎	熊本	大分	鹿児島
総件数	5	906	47	3	3	10	4	1
負債総額	1.81	1,422.52	51.12	1.87	2.36	5.50	4.33	0.35



令和6年3月の本県の企業倒産(負債総額1千万円以上の法人及び個人企業)は5件で、負債総額は1億81百万円でした。

(8-6表 資料：(株)東京商工リサーチ宮崎支店)

## 6. 人口



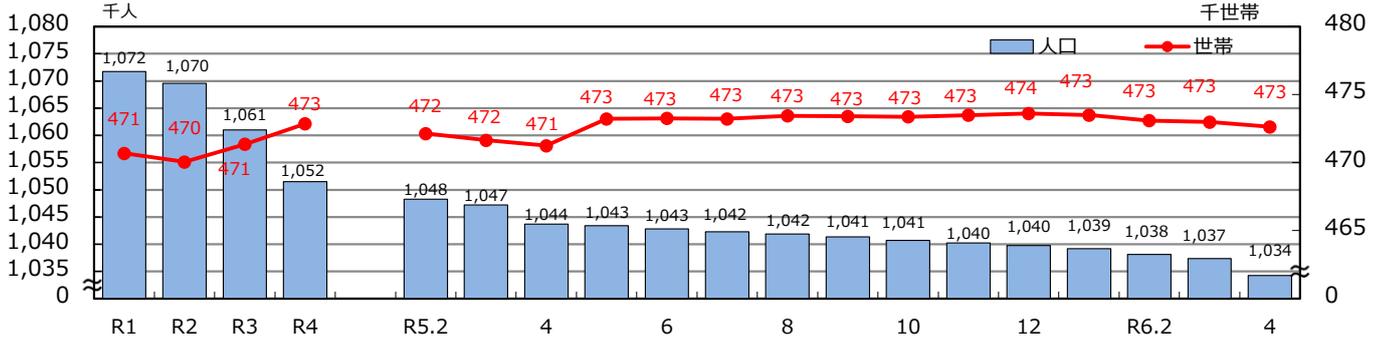
令和6年4月1日現在の本県の推計人口は1,034,230人で、前月より3,125人減少しました。世帯数は前月より350世帯減少し、472,635世帯でした。

### 【人口】

#### ●全国・九州各県（3月）

(単位:千人、%)

	本県	全国	福岡	佐賀	長崎	熊本	大分	鹿児島
人口	1,037	13,995	5,099	792	1,261	1,703	1,091	1,543
前月増加率	▲ 0.05	▲ 0.08	▲ 0.06	▲ 0.09	▲ 0.12	▲ 0.08	▲ 0.14	▲ 0.08



令和6年4月1日現在の本県の推計人口は1,034,230人で、前月より3,125人減少しました。また、世帯数は前月より350世帯減少し、472,635世帯でした。  
※月別の数値は各月1日現在、年別は各年10月1日現在

(2-1表 資料: 県統計調査課)

**[参考]**

**「月例経済報告」抜粋（令和6年4月23日：内閣府） ※全国**

**【基調判断】**

3月月例	4月月例
<p>景気は、このところ足踏みもみられるが、緩やかに回復している。</p> <p>先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、世界的な金融引締めに伴う影響や中国経済の先行き懸念など、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。さらに、令和6年能登半島地震の経済に与える影響に十分留意する必要がある。</p>	<p>景気は、このところ足踏みもみられるが、緩やかに回復している。</p> <p>先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、世界的な金融引締めに伴う影響や中国経済の先行き懸念など、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。さらに、令和6年能登半島地震の経済に与える影響に十分留意する必要がある。</p>

※ 前回（2024年3月）から変更なし

**【各 論】**

	3月月例	4月月例
個人消費	持ち直しに足踏みがみられる	持ち直しに足踏みがみられる
設備投資	持ち直しの動きがみられる	持ち直しの動きがみられる
住宅建設	弱含んでいる	弱含んでいる
公共投資	底堅く推移している	底堅く推移している
輸 出	持ち直しの動きに足踏みがみられる	持ち直しの動きに足踏みがみられる
輸 入	このところ弱含んでいる	このところ弱含んでいる
貿易・サービス収支	赤字となっている	赤字となっている
生 産	持ち直しに向かっていたものの、一部自動車メーカーの生産・出荷停止の影響により、このところ生産活動が低下している	持ち直しに向かっていたものの、一部自動車メーカーの生産・出荷停止の影響により、このところ生産活動が低下している
企業収益	総じてみれば改善している	総じてみれば改善している
業況判断	改善している	改善している。 <u>ただし、製造業の一部では、一部自動車メーカーの生産・出荷停止による影響がみられる</u>
倒産件数	増加がみられる	増加がみられる
雇用情勢	改善の動きがみられる	改善の動きがみられる
国内企業物価	横ばいとなっている	横ばいとなっている
消費者物価	緩やかに上昇している	緩やかに上昇している
海外経済	世界の景気は、一部の地域において弱さがみられるものの、持ち直している。先行きについては、持ち直しが続くことが期待される。ただし、世界的な金融引締めや中国における不動産市場の停滞に伴う影響による下振れリスクに留意する必要がある。また、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動の影響を注視する必要がある。	世界の景気は、一部の地域において弱さがみられるものの、持ち直している。先行きについては、持ち直しが続くことが期待される。ただし、世界的な金融引締めや中国における不動産市場の停滞に伴う影響による下振れリスクに留意する必要がある。また、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動の影響を注視する必要がある。

※ 下線部は、前月から変更した部分

**[参考]**

**「宮崎県金融経済概況」抜粋（2024年4月1日：日本銀行宮崎事務所）**

**【概要】**

3月	4月
<p>宮崎県の景気は、緩やかに回復している。</p> <p>すなわち、最終需要面をみると、個人消費は、緩やかに回復している。観光は、緩やかに回復している。住宅投資は、弱めの動きとなっている。公共投資は、増加している。</p> <p>生産は、弱めの動きとなっている。企業部門の動向を短観（12月&lt;鹿児島・宮崎両県集計分&gt;）でみると、設備投資は、増加している。雇用・所得環境は、緩やかに改善している。</p>	<p>宮崎県の景気は、緩やかに回復している。</p> <p>すなわち、最終需要面をみると、個人消費は、緩やかに回復している。観光は、緩やかに回復している。住宅投資は、弱めの動きとなっている。公共投資は、増加している。</p> <p>生産は、弱めの動きとなっている。企業部門の動向を短観（3月&lt;鹿児島・宮崎両県集計分&gt;）でみると、設備投資は、増加している。雇用・所得環境は、緩やかに改善している。</p>

※ 前回（2024年3月）から変更なし

**[参考]**

**「宮崎県内経済情勢報告」抜粋**

（令和6年4月22日：九州財務局宮崎財務事務所）

**【総括判断】**

前回（6年1月判断）	今回（6年4月判断）
緩やかに回復しつつある。	緩やかに回復しつつある。

※ 前回から変更なし

**【各項目の判断】**

	前回（6年1月判断）	今回（6年4月判断）
個人消費	緩やかに回復しつつある	緩やかに回復しつつある
生産活動	弱含んでいる	弱含んでいる
雇用情勢	緩やかに改善しつつある	緩やかに改善しつつある
設備投資	5年度は減少見込み	5年度は減少見込み
企業収益	5年度は減益見込み	5年度は増益見込み
企業の景況感	「上昇」超となっている	「上昇」超となっている
住宅建設	前年を下回っている	前年を上回っている
公共事業	前年度を上回っている	前年度を上回っている
倒産	件数、負債総額ともに前年を下回っている	件数、負債総額ともに前年を上回っている

※ 下線部は、前回から変更した部分

( 参考指標一覧 )

— 全国 —

年 月	景気動向指数 (DI)			人 口	世帯数	鉱工業生産指数		鉱工業出荷指数		鉱工業在庫指数	
	先行指数	一致指数	遅行指数			季節調整済指数	原指数	季節調整済指数	原指数	季節調整済指数	原指数
				万人	千世帯	R2年=100	R2年=100	R2年=100	R2年=100	R2年=100	R2年=100
H 29 年	-	-	-	12,692	57,477	-	114.0	-	114.9	-	99.2
H 30 年	-	-	-	12,675	58,008	-	114.6	-	114.9	-	100.5
R 1 年	-	-	-	12,656	58,527	-	111.6	-	112.0	-	101.0
R 2 年	-	-	-	12,615	59,072	-	100.0	-	100.0	-	92.6
R 3 年	-	-	-	12,550	59,497	-	105.4	-	104.4	-	98.5
R 4 年	-	-	-	12,495	59,761	-	105.3	-	103.9	-	101.2
R 5 年	-	-	-	12,397	60,266	-	103.9	-	103.2	-	100.7
R 4 年 7 月	31.8	50.0	83.3	12,512	-	106.3	107.9	104.9	106.5	100.6	101.4
R 4 年 8 月	63.6	70.0	77.8	12,508	-	107.8	100.8	105.7	99.6	101.7	102.2
R 4 年 9 月	40.9	50.0	55.6	12,497	-	107.3	112.1	105.0	110.5	103.4	102.7
R 4 年 10 月	36.4	40.0	66.7	12,495	-	105.5	105.4	104.4	104.5	103.2	102.9
R 4 年 11 月	36.4	30.0	72.2	12,491	-	105.5	108.6	104.0	107.4	103.2	104.4
R 4 年 12 月	45.5	30.0	55.6	12,486	-	104.9	107.6	102.8	107.3	103.1	101.2
R 5 年 1 月	45.5	40.0	66.7	12,475	-	101.1	93.8	99.9	92.1	102.8	104.0
R 5 年 2 月	54.5	40.0	55.6	12,463	-	104.5	100.9	103.8	100.3	103.4	104.5
R 5 年 3 月	54.5	50.0	66.7	12,457	-	104.9	117.3	104.3	118.1	103.6	100.6
R 5 年 4 月	45.5	80.0	44.4	12,455	-	105.2	102.5	103.8	100.0	104.9	103.2
R 5 年 5 月	36.4	50.0	66.7	12,448	-	104.1	96.6	103.5	93.9	105.5	106.3
R 5 年 6 月	63.6	70.0	72.2	12,451	-	105.0	108.2	104.3	107.3	105.5	106.3
R 5 年 7 月	54.5	35.0	61.1	12,452	-	103.5	105.1	102.9	104.4	105.7	107.0
R 5 年 8 月	54.5	30.0	22.2	12,444	-	103.1	96.1	102.7	96.5	104.5	105.3
R 5 年 9 月	45.5	40.0	50.0	12,435	-	103.2	107.0	103.3	107.8	103.6	102.7
R 5 年 10 月	54.5	60.0	66.7	12,435	-	104.4	106.3	103.6	105.3	103.6	103.7
R 5 年 11 月	45.5	20.0	66.7	12,434	-	103.8	106.9	102.8	105.6	103.6	105.3
R 5 年 12 月	45.5	60.0	44.4	12,424	-	105.0	106.4	104.4	107.5	102.7	100.7
R 6 年 1 月	r 50.0	r 11.1	r 37.5	12,409	-	98.0	92.4	96.6	90.5	101.0	102.1
R 6 年 2 月	77.8	12.5	50.0	12,399	-	97.4	97.0	95.9	95.6	101.6	102.7
R 6 年 3 月				12,397	-						
R 6 年 4 月				12,400	-						
資料	内閣府			総務省		経済産業省					

— 本 県 —

年 月	景気動向指数 (DI)			人 口	世帯数	鉱工業生産指数		鉱工業出荷指数		鉱工業在庫指数	
	先行指数	一致指数	遅行指数			季節調整済指数	原指数	季節調整済指数	原指数	季節調整済指数	原指数
				人	世帯	27年=100	27年=100	27年=100	27年=100	27年=100	27年=100
H 27 年	-	-	-	1,104,069	462,858	-	100.0	-	100.0	-	100.0
H 28 年	-	-	-	1,095,863	465,186	-	98.6	-	99.9	-	88.6
H 29 年	-	-	-	1,088,044	467,011	-	96.2	-	97.7	-	95.4
H 30 年	-	-	-	1,079,727	468,593	-	96.7	-	97.3	-	102.4
R 1 年	-	-	-	1,071,723	470,687	-	96.6	-	94.4	-	116.8
R 2 年	-	-	-	1,069,576	470,055	-	87.7	-	88.1	-	108.8
R 3 年	-	-	-	1,061,016	471,351	-	91.7	-	90.7	-	111.0
R 4 年	-	-	-	1,051,518	473,153	-	87.7	-	87.3	-	111.4
R 5 年	-	-	-	1,040,711	473,366	-	82.4	-	81.5	-	117.2
R 4 年 7 月	60.0	57.1	60.0	1,053,356	473,191	85.3	83.6	86.5	87.5	111.8	110.1
R 4 年 8 月	60.0	57.1	60.0	1,053,071	473,443	90.5	85.3	88.1	84.3	111.7	110.4
R 4 年 9 月	20.0	21.4	60.0	1,052,337	473,328	84.5	86.2	84.8	85.3	110.7	109.1
R 4 年 10 月	60.0	71.4	60.0	1,051,518	473,153	86.4	92.6	84.5	85.8	110.6	111.4
R 4 年 11 月	20.0	21.4	80.0	1,050,838	473,064	85.9	91.0	83.8	89.7	112.1	113.2
R 4 年 12 月	40.0	42.9	60.0	1,050,208	472,857	83.2	87.0	82.3	89.5	111.7	111.4
R 5 年 1 月	20.0	42.9	80.0	1,049,604	472,616	81.2	76.1	80.1	74.1	114.4	114.4
R 5 年 2 月	80.0	35.7	40.0	1,048,272	472,136	81.6	78.2	81.9	78.9	113.8	114.2
R 5 年 3 月	40.0	42.9	60.0	1,047,223	471,644	83.0	90.4	81.4	88.1	117.3	117.2
R 5 年 4 月	60.0	64.3	40.0	1,043,672	471,250	87.1	86.9	82.6	81.4	121.1	122.1
R 5 年 5 月	60.0	71.4	60.0	1,043,427	473,215	84.2	78.8	84.5	77.3	119.9	121.9
R 5 年 6 月	80.0	42.9	60.0	1,042,799	473,252	82.2	79.3	84.1	82.5	119.0	119.1
R 5 年 7 月	20.0	0.0	70.0	1,042,265	473,215	82.2	80.5	79.1	80.0	121.5	119.6
R 5 年 8 月	0.0	28.6	80.0	1,041,878	473,442	80.7	76.1	80.5	77.1	120.8	119.4
R 5 年 9 月	20.0	57.1	60.0	1,041,342	473,408	83.9	85.2	81.1	81.5	121.7	119.9
R 5 年 10 月	60.0	14.3	40.0	1,040,711	473,366	81.0	87.9	81.2	83.5	119.8	120.7
R 5 年 11 月	100.0	42.9	20.0	1,040,218	473,489	80.9	85.7	81.3	87.0	117.8	119.0
R 5 年 12 月	100.0	14.3	20.0	1,039,751	473,611	80.9	83.5	80.7	86.6	117.5	117.2
R 6 年 1 月	60.0	42.9	20.0	1,039,198	473,494	r 78.6	r 73.7	77.0	71.3	r 117.5	r 117.5
R 6 年 2 月				1,038,149	473,091	83.8	80.3	80.1	77.2	121.4	121.8
R 6 年 3 月				1,037,355	472,985						
R 6 年 4 月				1,034,230	472,635						
表	1-1			2-1		4-3					
資料	県統計調査課										

注 1 本県の「表」は「統計みやぎ」の掲載表を示している  
 2 人口(推計人口)の年欄は各年10月1日現在、月欄は各月1日現在。平成27年、令和2年は国勢調査人口  
 本県の年欄令和2年及び月欄令和2年10月以降の人口・世帯数については、令和2年国勢調査の確報値を基準としている  
 3 全国の世帯数の年欄は各年1月1日現在の数値、本県の世帯数の年欄は各年10月1日現在の数値  
 ※「p」は「速報値」(鉱工業指数・景気動向指数)、「r」は「改訂値」(景気動向指数)・「確定値」(人口)・「確報値」(鉱工業指数)

年 月	新設住宅着工戸数			公共工事請負状況		着 工 建 築 物		航空便利用		銀行勘定 (年 月 末)	
	総戸数	持家	貸家	件数	請負額	床面積	工事費 予定額	乗客	降客	預金	貸出
H 29 年	964,641	284,283	419,397	251,147	143,692	134,679	276,981	-	-	7,639,463	5,052,386
H 30 年	942,370	283,235	396,404	243,696	139,210	131,149	267,177	-	-	7,797,315	5,154,804
R 1 年	905,123	288,738	342,289	251,437	148,384	127,555	272,809	-	-	8,001,229	5,246,636
R 2 年	814,765	261,088	306,753	247,224	153,967	113,744	243,066	-	-	8,765,116	5,544,439
R 3 年	856,484	285,575	321,376	234,865	142,867	122,239	262,607	-	-	9,080,594	5,611,372
R 4 年	859,529	253,287	345,080	223,206	136,174	119,466	267,468	-	-	9,369,424	5,884,641
R 5 年	819,623	224,352	343,894	223,430	145,878	111,216	285,932	-	-	9,691,548	6,108,607
R 4 年 7 月	72,981	22,406	29,668	24,623	12,924	11,248	25,688	-	-	9,322,562	5,745,542
R 4 年 8 月	77,712	22,291	31,295	23,222	11,562	10,418	23,514	-	-	9,324,606	5,762,602
R 4 年 9 月	73,920	22,248	30,555	26,027	12,985	9,682	22,206	-	-	9,283,924	5,802,785
R 4 年 10 月	76,590	21,834	31,996	21,771	10,558	9,902	23,025	-	-	9,353,780	5,820,339
R 4 年 11 月	72,372	21,511	29,873	17,707	6,961	9,568	22,264	-	-	9,448,423	5,839,307
R 4 年 12 月	67,249	19,768	26,845	14,149	6,283	8,967	20,759	-	-	9,369,424	5,884,641
R 5 年 1 月	63,604	16,627	24,041	9,302	5,088	9,278	22,723	-	-	9,434,430	5,879,374
R 5 年 2 月	64,426	18,368	24,692	10,654	8,978	9,016	20,899	-	-	9,444,587	5,894,159
R 5 年 3 月	73,693	17,484	32,585	17,823	15,301	8,598	20,071	-	-	9,610,554	5,930,300
R 5 年 4 月	67,250	18,597	28,685	18,107	20,480	10,298	25,231	-	-	9,685,955	5,935,792
R 5 年 5 月	69,561	18,853	28,695	16,487	14,163	8,994	22,690	-	-	9,709,981	5,399,872
R 5 年 6 月	71,015	20,325	30,112	25,934	18,151	9,177	23,729	-	-	9,661,925	5,958,675
R 5 年 7 月	68,151	20,689	30,170	24,065	13,802	9,261	24,962	-	-	9,683,690	5,974,618
R 5 年 8 月	70,389	20,984	29,364	22,215	11,147	9,310	23,249	-	-	9,695,106	5,990,551
R 5 年 9 月	68,941	19,527	29,735	25,074	12,995	9,200	25,111	-	-	9,632,151	6,026,441
R 5 年 10 月	71,769	18,078	31,671	21,599	10,933	10,859	29,013	-	-	9,679,862	6,032,046
R 5 年 11 月	66,238	17,789	28,275	17,831	7,647	8,513	22,569	-	-	9,771,535	6,067,305
R 5 年 12 月	64,586	17,031	25,869	14,339	7,193	8,712	25,685	-	-	9,691,548	6,108,607
R 6 年 1 月	58,849	14,805	24,681	9,269	5,734	7,954	22,947	-	-	9,738,023	6,114,317
R 6 年 2 月	59,162	16,307	24,934	10,653	8,917	7,779	21,274	-	-	9,764,248	6,136,265
R 6 年 3 月				16,231	16,243						
R 6 年 4 月											
資 料	国土交通省			北海道建設業保証、 東北支店建設業保証、 西日本建設業保証		国土交通省				日本銀行	

年 月	新設住宅着工戸数			公共工事請負状況		着 工 建 築 物		宮崎空港乗降客数		銀行勘定 (年 月 末)	
	総戸数	持家	貸家	件数	請負額	床面積	工事費 予定額	国内線	国際線	預金	貸出
H 27 年	6,443	3,092	2,516	3,955	109,660	1,040,146	15,430	1,423,186	1,426,378	29,666	23,138
H 28 年	7,337	3,290	2,956	4,298	127,355	1,107,113	17,158	1,475,383	1,475,734	30,469	24,227
H 29 年	6,985	3,139	2,707	4,487	126,512	1,168,692	19,064	1,524,216	1,522,028	31,696	25,011
H 30 年	6,708	3,201	2,738	4,236	121,689	1,223,422	19,921	1,581,102	1,583,763	32,704	25,934
R 1 年	6,463	3,328	2,278	4,446	138,125	1,097,597	18,368	1,632,010	1,634,699	33,429	26,368
R 2 年	5,886	2,913	2,096	4,123	164,965	927,646	15,842	682,252	672,162	36,962	27,449
R 3 年	6,796	3,084	2,242	4,030	152,842	1,081,217	19,189	603,352	612,600	38,815	27,555
R 4 年	6,079	2,734	2,201	3,573	143,649	919,048	20,214	1,096,556	1,094,815	40,575	27,729
R 5 年	5,929	2,322	2,477	4,360	162,604	889,898	20,179	2,959,199	20,719	41,185	27,940
R 4 年 7 月	496	213	213	396	13,063	78,080	1,436	193,200	-	40,271	27,622
R 4 年 8 月	464	209	190	397	15,181	56,329	1,056	231,701	-	40,222	27,667
R 4 年 9 月	562	264	201	419	15,592	110,052	3,985	173,988	-	40,041	27,764
R 4 年 10 月	528	221	240	381	11,460	66,152	1,271	232,916	-	40,160	27,572
R 4 年 11 月	406	266	70	285	6,467	81,966	2,361	244,941	849	40,475	27,530
R 4 年 12 月	403	214	106	280	5,563	56,678	1,044	243,189	-	40,575	27,729
R 5 年 1 月	368	166	133	174	4,684	58,158	1,123	221,024	2,279	40,561	27,614
R 5 年 2 月	445	194	174	316	7,690	58,266	1,150	236,263	2,286	40,697	27,702
R 5 年 3 月	646	193	301	669	19,100	86,264	1,804	271,213	1,066	41,325	27,755
R 5 年 4 月	389	208	113	187	12,805	53,758	1,036	217,760	2,240	41,491	27,569
R 5 年 5 月	648	219	247	303	15,832	119,273	3,363	248,144	272	41,369	27,531
R 5 年 6 月	404	156	178	391	14,289	47,001	1,012	218,013	-	41,870	27,577
R 5 年 7 月	578	209	295	382	14,512	76,690	2,168	230,655	-	41,424	27,703
R 5 年 8 月	430	210	131	386	16,318	54,202	1,083	267,874	-	41,308	27,742
R 5 年 9 月	485	212	142	490	20,001	109,219	1,886	235,546	532	41,264	27,753
R 5 年 10 月	509	200	233	437	13,913	69,917	1,326	270,752	3,791	41,139	27,730
R 5 年 11 月	441	175	191	339	7,647	69,516	2,518	277,901	3,858	41,023	27,685
R 5 年 12 月	586	180	339	286	12,680	87,634	1,710	268,054	4,407	41,185	27,940
R 6 年 1 月	447	171	154	214	11,242	90,776	2,863	237,344	4,038	41,170	27,861
R 6 年 2 月	353	157	142	273	14,686	48,292	1,018	254,987	4,078	40,999	27,878
R 6 年 3 月				404	23,571			274,001	4,690		
R 6 年 4 月											
表	5-1			5-2		5-3		7-3		8-3	
資 料	国土交通省			西日本建設業保証(株) 宮崎支店		国土交通省		宮崎交通、県総合交通課		日本銀行	

注 4 銀行勘定には信用金庫、信用組合等の数値は含まれない

— 全国 —

年 月	企業倒産状況		通 関 額		百貨店・スーパー商品別販売額				延べ宿泊者数 万人泊	物 価 指 数	
	件数	負債額	輸 出	輸 入	合 計	衣料品	飲食料品	その他		国内企業 物 価	消費者 物 価
	件	億円	億円	億円	億円	億円	億円	億円		R2年=100	R2年=100
H 29 年	8,405	31,676	782,865	753,792	196,025	40,536	115,059	40,430	50,960	98.4	98.6
H 30 年	8,235	14,855	814,788	827,033	196,044	39,159	116,418	40,466	53,800	101.0	99.5
R 1 年	8,383	14,232	769,317	785,995	193,962	37,541	116,225	40,196	59,592	101.2	100.0
R 2 年	7,773	12,200	683,991	680,108	195,050	27,626	131,166	36,257	33,165	100.0	100.0
R 3 年	6,030	11,507	830,914	848,750	199,071	27,822	134,758	36,491	31,777	104.6	99.8
R 4 年	6,428	23,314	981,736	1,185,032	206,603	31,242	136,783	38,578	45,046	114.7	102.3
R 5 年	8,690	24,025	1,008,738	1,101,956	216,049	34,092	141,335	40,623	59,275	119.6	105.6
R 4 年 7 月	494	846	87,528	102,326	17,704	2,630	11,728	3,345	3,985	115.4	102.3
R 4 年 8 月	492	1,114	80,605	108,516	16,776	2,070	11,546	3,160	4,687	115.9	102.7
R 4 年 9 月	599	1,449	88,176	109,429	16,299	2,305	10,907	3,088	3,934	117.0	103.1
R 4 年 10 月	596	870	90,013	112,073	17,326	2,979	11,185	3,162	4,406	118.2	103.7
R 4 年 11 月	581	1,156	88,368	108,944	17,590	2,880	11,382	3,329	4,581	119.2	103.9
R 4 年 12 月	606	792	87,868	102,848	22,266	3,488	14,539	4,239	4,708	119.9	104.1
R 5 年 1 月	570	565	65,506	100,491	17,674	2,914	11,470	3,290	3,949	119.9	104.7
R 5 年 2 月	577	966	76,543	85,524	15,820	2,221	10,732	2,867	4,114	119.6	104.0
R 5 年 3 月	809	1,474	88,240	95,791	17,670	3,010	11,297	3,363	5,068	119.7	104.4
R 5 年 4 月	610	2,039	82,890	87,212	17,095	2,783	11,109	3,203	4,554	120.1	105.1
R 5 年 5 月	706	2,787	72,920	86,739	17,436	2,749	11,451	3,236	4,926	119.3	105.1
R 5 年 6 月	770	1,509	87,438	87,007	17,461	2,776	11,389	3,296	4,533	119.2	105.2
R 5 年 7 月	758	1,621	87,243	87,906	18,741	2,932	12,230	3,579	5,254	119.5	105.7
R 5 年 8 月	760	1,084	79,945	89,223	17,859	2,336	12,102	3,420	6,102	119.8	105.9
R 5 年 9 月	720	6,919	91,991	91,270	17,085	2,525	11,298	3,262	5,032	119.6	106.2
R 5 年 10 月	793	3,080	91,471	98,143	17,999	3,071	11,619	3,309	5,378	119.5	107.1
R 5 年 11 月	807	949	88,196	95,999	18,363	3,135	11,762	3,467	5,292	119.8	106.9
R 5 年 12 月	810	1,032	96,433	95,745	22,846	3,638	14,877	4,330	5,074	120.1	106.8
R 6 年 1 月	701	791	73,328	90,931	18,264	3,044	11,794	3,426	4,565	120.1	106.9
R 6 年 2 月	712	1,396	82,492	86,270	17,021	2,538	11,340	3,144	4,815	120.7	106.9
R 6 年 3 月	906	1,423									
R 6 年 4 月											
資 料	東京商工 リサーチ		財務省		経済産業省				観光庁	日本銀行	総務省

— 本 県 —

年 月	企業倒産状況		通 関 額		百貨店・スーパー販売高				主要ホテル ・旅館 宿泊客数 人泊	物 価 指 数	
	件数	負債額	輸 出	輸 入	総販売高	衣料品	飲食料品	その他		国内企 業 物 価	消費者 物 価
	件	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円			R2年=100
H 27 年	39	3,564	90,633	58,139	80,537	19,719	37,610	23,208	1,129,728	-	98.5
H 28 年	31	4,216	70,338	47,109	71,990	16,021	37,476	18,492	1,151,238	-	98.7
H 29 年	28	3,087	70,267	53,100	71,416	15,262	36,492	19,663	1,188,172	-	99.4
H 30 年	32	10,109	77,625	50,191	68,412	14,083	34,187	20,142	1,250,586	-	99.9
R 1 年	26	1,463	74,718	56,165	68,454	13,538	34,449	20,467	1,283,669	-	100.1
R 2 年	33	3,454	66,164	34,679	69,413	10,986	37,348	21,080	776,036	-	100.0
R 3 年	27	3,667	66,319	51,478	68,495	10,518	37,722	20,254	802,530	-	99.5
R 4 年	23	4,154	66,096	79,670	72,097	10,931	39,955	21,211	1,082,746	-	101.9
R 5 年	32	2,886	69,495	60,876					1,180,299	-	105.3
R 4 年 7 月	-	-	4,326	5,448	6,475	941	3,590	1,943	79,468	-	101.7
R 4 年 8 月	-	-	4,743	12,824	6,017	720	3,425	1,871	125,598	-	102.1
R 4 年 9 月	2	545	4,104	4,127	5,308	682	3,032	1,594	91,677	-	102.8
R 4 年 10 月	6	326	5,893	7,672	6,292	1,148	3,424	1,720	92,931	-	103.5
R 4 年 11 月	5	917	5,267	6,865	6,197	1,033	3,500	1,664	97,646	-	103.6
R 4 年 12 月	2	454	6,754	9,108	8,346	1,241	4,581	2,523	102,803	-	103.8
R 5 年 1 月	2	89	5,457	3,795	6,038	938	3,290	1,809	84,066	-	104.1
R 5 年 2 月	3	157	5,017	6,430	5,307	708	3,092	1,507	97,494	-	103.2
R 5 年 3 月	2	69	4,792	7,418	5,974	956	3,272	1,746	113,721	-	103.7
R 5 年 4 月	2	62	4,729	6,222	5,762	969	3,115	1,679	86,997	-	104.6
R 5 年 5 月	2	180	6,549	3,551	6,137	986	3,411	1,741	99,479	-	104.7
R 5 年 6 月	4	958	5,927	4,267	5,657	944	3,076	1,638	85,253	-	104.7
R 5 年 7 月	3	187	5,616	5,041	6,674	995	3,673	2,006	98,568	-	105.3
R 5 年 8 月	6	523	5,679	5,304	6,192	748	3,556	1,888	113,204	-	105.9
R 5 年 9 月	4	106	6,723	5,546	5,503	725	3,144	1,634	92,919	-	106.2
R 5 年 10 月	2	54	6,431	3,160	6,023	1,064	3,301	1,659	102,785	-	107.2
R 5 年 11 月	1	487	6,670	6,119	6,353	1,042	3,608	1,704	106,809	-	107.0
R 5 年 12 月	1	14	5,906	4,026	8,147	1,153	4,516	2,478	99,004	-	107.0
R 6 年 1 月	4	457	6,522	7,343	6,043	926	3,283	1,834	90,513	-	107.2
R 6 年 2 月	4	1,158	5,842	3,424	5,436	690	3,175	1,572	103,809	-	106.8
R 6 年 3 月	5	181									
R 6 年 4 月											
表	8-6		9-1		9-2					10-1	10-3
資 料	東京商工 リサーチ		財務省		経済産業省				県観光推進課		県統計 調査課

注 5 通関額は月別速報値  
6 延べ宿泊者数(全国)の最新月は速報値  
7 本県の消費者物価指数(総合指数)及び家計消費額は、宮崎市の値  
8 国内企業物価指数の「r」は「訂正値」、「p」は「速報値」  
※全国の百貨店・スーパー商品別販売額は、令和5年1月分確報(3月18日公表)にて「年間補正」(過去1年間のデータの修正)が行われた

— 全国 —

年 月	家計消費額 (一世帯当) 円	有効求人 倍率	新規求職 申込件数 千件	新規求人数 千人	賃金指数				常用雇用 指数	総実労働 時間 指数	所定外労働 時間指数 (製造業)	完全 失業率 %
					現金給与総額		きまって支給する給与					
					名目	実質	名目	実質				
					R2年=100	R2年=100	R2年=100	R2年=100	R2年=100	R2年=100	R2年=100	
H 29 年	283,027	1.50	5,160	11,553	100.2	101.9	100.0	101.7	96.0	106.1	133.9	2.8
H 30 年	287,315	1.61	4,895	11,721	101.6	102.1	100.9	101.4	97.1	105.2	134.7	2.4
R 1 年	293,379	1.60	4,752	11,505	101.2	101.2	100.7	100.7	99.0	102.9	124.7	2.4
R 2 年	277,926	1.18	4,619	9,010	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	2.8
R 3 年	279,024	1.13	4,640	9,378	100.3	100.6	100.5	100.8	100.5	100.7	114.7	2.8
R 4 年	290,865	1.28	4,592	10,398	102.3	99.6	101.9	99.2	101.3	100.8	119.6	2.6
R 5 年	293,997	1.31	4,552	10,404	103.5	97.1	103.0	96.6	103.1	100.9	113.3	2.6
R 4 年 7 月	285,313	1.28	341	855	118.1	115.0	102.2	99.5	102.6	103.6	120.1	2.6
R 4 年 8 月	289,974	1.31	358	839	87.8	85.1	101.4	98.3	102.5	97.9	112.7	2.5
R 4 年 9 月	280,999	1.32	362	888	86.7	83.7	102.1	98.6	102.5	101.6	120.1	2.6
R 4 年 10 月	298,006	1.34	362	925	86.4	82.8	102.5	98.3	102.7	101.6	123.1	2.6
R 4 年 11 月	285,947	1.35	331	865	90.5	86.5	102.6	98.1	102.8	102.7	123.9	2.5
R 4 年 12 月	328,114	1.36	290	849	178.4	170.1	102.5	97.7	103.0	101.6	123.1	2.5
R 5 年 1 月	301,646	1.35	405	939	87.0	82.5	101.4	96.1	102.0	94.7	109.3	2.5
R 5 年 2 月	272,214	1.34	404	926	85.2	81.4	101.5	96.9	101.8	98.7	111.1	2.6
R 5 年 3 月	312,758	1.32	420	898	91.9	87.4	102.5	97.4	101.3	102.1	115.7	2.7
R 5 年 4 月	303,076	1.32	501	841	89.4	84.3	104.0	98.1	102.7	104.2	116.7	2.6
R 5 年 5 月	286,443	1.31	405	834	89.5	84.4	103.0	97.2	103.0	98.9	108.3	2.6
R 5 年 6 月	275,545	1.30	367	874	145.1	136.8	103.7	97.7	103.5	105.4	110.2	2.5
R 5 年 7 月	281,736	1.29	342	833	119.4	111.9	103.5	97.0	103.7	102.6	111.1	2.6
R 5 年 8 月	293,161	1.29	350	847	88.5	82.7	102.6	95.9	103.6	97.6	103.7	2.6
R 5 年 9 月	282,969	1.29	358	858	87.2	81.3	103.0	96.0	103.7	101.0	111.1	2.6
R 5 年 10 月	301,974	1.30	378	909	87.7	80.9	103.7	95.7	103.9	102.4	115.7	2.5
R 5 年 11 月	286,922	1.28	326	824	91.1	84.3	103.6	95.8	104.2	102.4	113.9	2.5
R 5 年 12 月	329,518	1.27	296	821	179.8	166.5	103.7	96.0	104.3	100.7	112.0	2.5
R 6 年 1 月	289,467	1.27	408	911	90.3	83.5	104.7	96.8	103.2	95.3	103.7	2.4
R 6 年 2 月	279,868	1.26	392	893	88.3	81.7	105.3	97.4	103.1	99.6	108.3	2.6
R 6 年 3 月												
R 6 年 4 月												
資料	総務省				厚生労働省							総務省

— 本 県 —

年 月	家計消費額 (一世帯当) 円	有効求人 倍率	新規求職 申込件数 人	新規求人数 人	賃金指数				常用雇用 指数	総実労働 時間 指数	所定外労働 時間指数 (製造業)	完全 失業率 %
					現金給与総額		きまって支給する給与					
					名目	実質	名目	実質				
					基準年:R2年	基準年:R2年	基準年:R2年	基準年:R2年	基準年:R2年	基準年:R2年	基準年:R2年	
H 27 年	256,959	1.03	66,552	102,272	102.1	104.5	100.8	103.2	94.3	107.6	122.5	3.2
H 28 年	276,311	1.22	63,453	112,443	101.4	103.5	100.4	102.4	93.9	105.7	123.1	2.3
H 29 年	266,851	1.40	60,854	122,279	102.3	103.4	101.9	103.0	94.4	104.1	135.6	2.0
H 30 年	250,452	1.50	58,042	123,251	102.4	102.9	101.8	102.3	99.3	103.4	133.5	1.2
R 1 年	263,264	1.45	56,254	116,951	100.6	100.6	101.3	101.3	100.7	100.8	113.7	1.4
R 2 年	261,710	1.18	52,651	101,310	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	1.9
R 3 年	253,236	1.32	53,054	114,301	103.0	103.5	102.2	102.7	97.4	100.5	122.9	2.1
R 4 年	271,613	1.43	52,711	122,035	104.0	101.9	103.2	101.1	99.5	100.3	119.4	2.3
R 5 年	257,997	1.41	52,925	121,549	103.5	97.1	103.0	96.6	103.9	100.9	113.3	2.6
R 4 年 7 月	258,529	1.43	4,178	9,820	108.1	106.1	101.0	99.1	100.7	101.7	117.2	-
R 4 年 8 月	275,563	1.44	4,159	9,702	93.9	91.8	103.1	100.8	100.0	99.0	110.7	-
R 4 年 9 月	265,670	1.47	4,117	11,224	87.7	85.1	102.3	99.2	99.8	99.4	109.8	2.7
R 4 年 10 月	286,879	1.46	4,173	10,575	88.7	85.4	103.3	99.4	99.9	100.4	115.6	-
R 4 年 11 月	280,170	1.45	3,827	9,281	91.0	87.5	102.6	98.7	99.7	100.9	114.8	-
R 4 年 12 月	328,062	1.43	2,971	9,893	176.6	169.5	103.2	99.0	99.8	100.2	123.0	2.2
R 5 年 1 月	306,282	1.44	4,718	11,436	87.1	83.3	101.1	96.7	100.1	93.5	118.0	-
R 5 年 2 月	240,674	1.46	4,566	10,352	86.5	83.6	100.5	97.1	100.0	96.1	107.4	-
R 5 年 3 月	305,352	1.46	4,915	10,985	90.2	86.6	100.5	96.5	100.4	98.7	110.7	1.8
R 5 年 4 月	238,514	1.45	6,001	10,366	90.3	85.9	103.6	98.6	100.7	101.7	116.4	-
R 5 年 5 月	243,071	1.44	4,906	9,381	88.7	84.5	101.3	96.5	100.6	97.6	102.5	-
R 5 年 6 月	231,615	1.42	4,253	10,702	138.6	132.0	102.4	97.5	102.1	102.2	98.4	3.1
R 5 年 7 月	274,149	1.42	4,021	10,135	112.3	106.3	102.2	96.8	102.5	99.6	109.0	-
R 5 年 8 月	237,490	1.40	4,040	9,165	93.2	87.7	102.4	96.3	102.6	94.5	104.9	-
R 5 年 9 月	244,376	1.32	4,288	9,865	87.6	82.2	101.8	95.5	101.9	98.5	105.7	3.1
R 5 年 10 月	254,684	1.33	4,382	10,687	87.1	80.8	101.8	94.4	102.8	99.0	106.6	-
R 5 年 11 月	239,164	1.37	3,680	9,487	92.4	85.9	102.8	95.5	102.8	99.0	112.3	-
R 5 年 12 月	280,596	1.36	3,155	8,988	176.7	164.2	103.6	96.3	102.8	98.3	110.7	2.5
R 6 年 1 月	299,588	1.33	4,899	10,495	92.5	85.9	104.6	97.1	102.7	92.7	98.4	-
R 6 年 2 月	234,908	1.30	4,626	10,041	90.6	84.4	104.9	97.8	102.6	97.2	101.6	-
R 6 年 3 月												
R 6 年 4 月												
表	10-7		11-1		11-2							
資料	県統計調査課		厚生労働省宮崎労働局		県統計調査課							総務省

注 9 有効求人倍率は、パートタイムを含む。年計は原数値  
 ※有効求人倍率は、令和5年12月以前の数値が令和6年1月分公表時〔令和6年3月1日〕に新季節指数により改定された  
 10 賃金指数・雇用指数・総実労働時間指数は、事業所規模5人以上/所定外労働時間指数(製造業)は、事業所規模30人以上  
 ※本県の常用雇用指数は令和6年1月分確報時に、過去に遡って全数値を改訂した  
 11 本県の完全失業率について、労働力調査では都道府県別に表章するように標本設計を行っておらず(北海道及び沖縄県を除く)、標本規模も小さいことなどから、全国結果に比べ標本誤差が大きく、結果の利用に当たっては注意を要する  
 また、掲載している数値は四半期平均(例:3月に記載している値は1~3月平均)